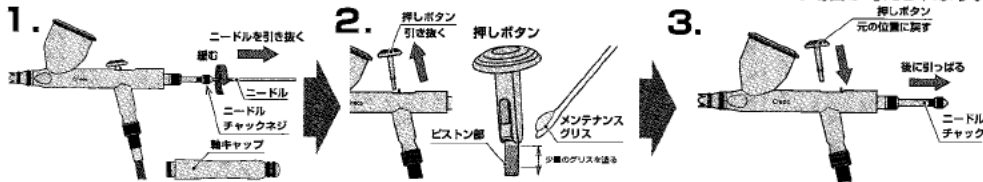


●それでも直らない時は...

《中級者以上の方のみ参照してください。》

押しボタンの作動潤滑用グリスが枯渇したことで、ピストンとシリンダーが直接こすれている場合が考えられます。



靴キャップを外し、ニードルチャックを緩め、注意しながらゆっくりとニードルを引き抜いてください。
※別添は PS274 の場合です。

押しボタンをゆっくりと上方に引き抜き、PS991 Mr. エアブラシ メンテナンスセットに付属のメンテナンスグリスを、ピストン部に少量塗ってください。

押しボタンを慎重に元の位置に戻し、ニードルを差し込み、ニードルをニードルチャックで固定してください。動作を確認したら、靴キャップを閉めてください。

※トリガータイプは構造が異なります。詳しくは URL=http://mr-hobby.com/ps991/index.html をご覧ください。
また PS991 Mr. エアブラシ メンテナンスセットの詳しい使用法は、商品に付属の取扱説明書を参照してください。

エアブラシを長期間使用していると、エアバルブ部を押すピストン機構を潤滑に作動させるためのグリスが、溶剤などで流れ落ちてしまう場合があります。そうしたトラブルを解消するために、弊社ではある程度エアブラシの扱いに慣れた中級者以上のユーザーのために、

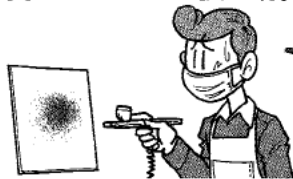
PS991 Mr. エアブラシ メンテナンスセットをご用意しています。またビギナーの方は、下記の弊社お客さま相談室へご連絡ください。



PS991 Mr. エアブラシ メンテナンスセット

（セット内容）
●ノズル交換器 ●洗浄用筆 ●メンテナンスグリス ●潤滑用クロス
お手持ちのエアブラシの状態を良好に保つための専用メンテナンスツールをワンセットにした商品です。エアブラシの保守やトラブル解決に必要なツールを、使いやすくコンパクトにまとめて設計しました。エアブラシ領域中級者以上を対象にした商品です。

6 塗料がスポット状に飛び散る

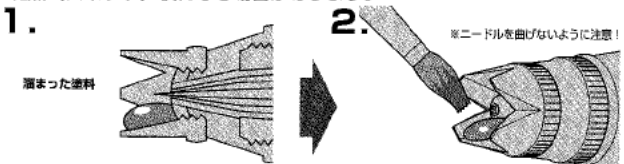


吹きはじめに塗料が斑点（スポット）状に飛び散る！

Ans.
エアブラシ先端のニードルキャップに溜まった塗料によるトラブルと思われます。

●ニードルキャップの内側に、塗料が溜まっていませんか？

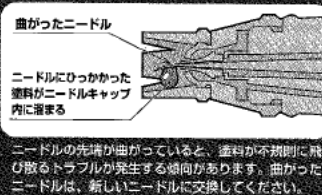
吹付け操作をしていると、ニードルキャップの内側に少しずつ塗料が溜まってしまい、その塗料が吹き飛ばされて斑点（スポット）状になる場合があります。



ニードルキャップの内側に溜まった塗料は、吹付け時のトラブルになります。

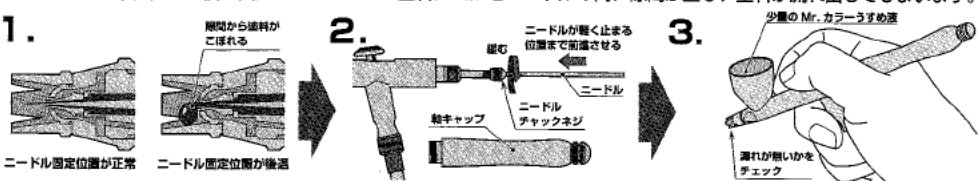
溜まった塗料を Mr. ツールクリーナーもしくは Mr. カラーうすめ液につけた筆を使って洗浄してください。

! ご確認ください!



●ニードルは正しい位置で固定されていますか？

ニードルが正常位置より後で固定されていると、塗料ノズルとニードルの間に隙間が生じ、塗料が流れ出てしまいます。



ニードルの固定位置が後退していると、ノズルとニードルの間に隙間が出来、塗料がこぼれてしまいます。

靴キャップを外し、ニードルチャックネジをゆるめ、ニードルを先端の止まる位置にまで前進させます。

塗料カップに Mr. カラーうすめ液を少量入れて、ノズルからの漏れがないかをチェックしてください。



PROCON BOY シリーズ MR.AIR BRUSH シリーズ

エアブラシシステムトラブル解決ガイド

エアブラシは、個々のパーツは繊細ですが、構造そのものはとてもシンプルです。塗装が出来ないというトラブルも、意外と簡単に解決できることがあります。

Q&Ans CONTENTS

- 1 トラブルを未然に防ぐために...
- 2 エアが塗料カップに逆流する
- 3 塗料が出て来ない
- 4 押しボタンが引けない
- 5 押しボタンが戻らない/動きが渋い
- 6 塗料がスポット状に飛び散る

1 トラブルを未然に防ぐために...

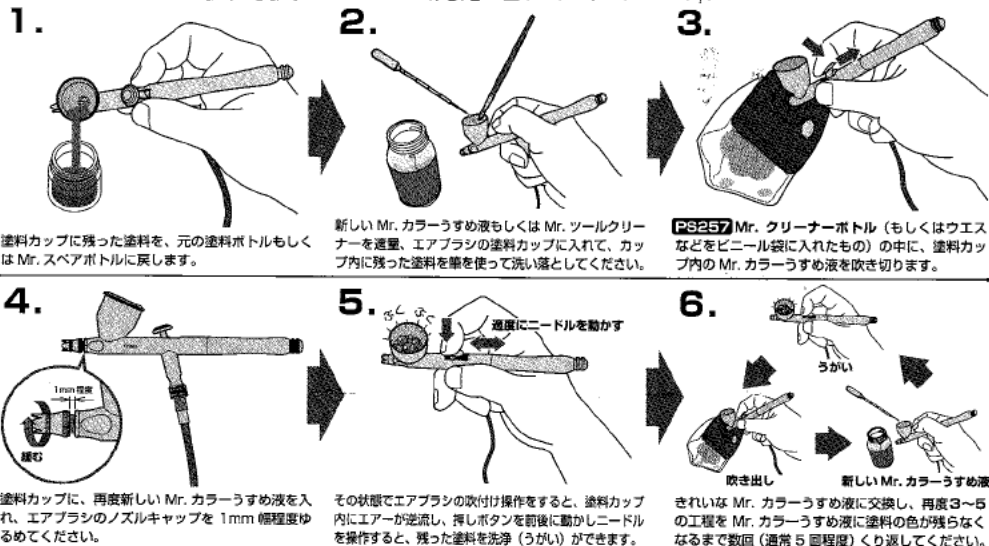


前回塗装したときは普通に使用できたけど、なぜか今回は塗料が出なくなっていた!

Ans.

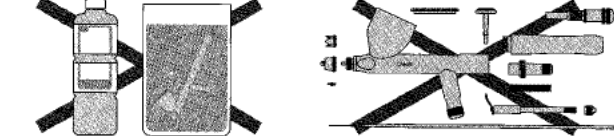
エアブラシのトラブルの多くは、前回使用したあとのメンテナンス不足が原因となっています。正しくエアブラシの洗浄とメンテナンスをすることによって、トラブルを未然に防ぐことができます。

●エアブラシ使用後の正しい洗浄とメンテナンス



! 絶対にやらないでください!

- エアブラシ本体を直接溶剤に漬け込まないでください
- 必要以上にエアブラシを分解しないでください



ニードルキャップ、ノズルキャップが汚れている場合は、筆などに Mr. ツールクリーナーをつけて、軽く洗浄してください。

誤ったメンテナンス方法は、かえってエアブラシの故障を招きますので、絶対にやらないでください。エアブラシ本体を直接溶剤に漬け込むとゴムパッキンが痛みます。また、不必要な分解掃除は、部品を傷つける結果となります。通常に使用している場合、前記の正しいお手入れで充分にきれいにお使いいただけます。

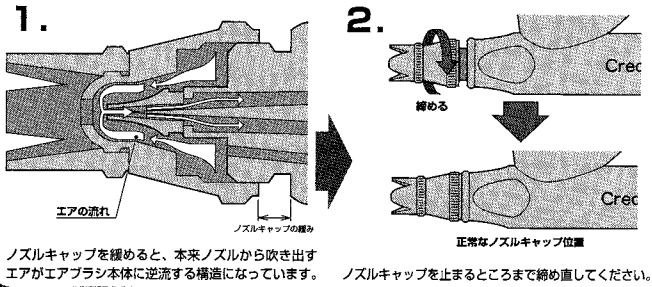
エアが塗料カップに逆流する



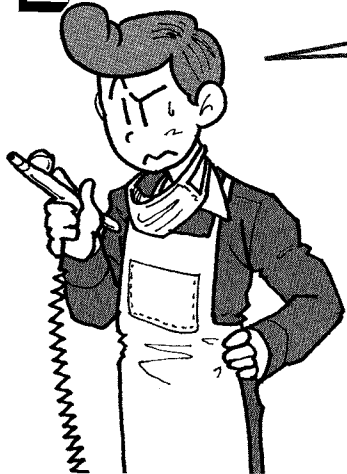
押しボタンを押すと塗料カップからブクブク音がして塗料が出て来ない!

Ans.
ノズルキャップは緩んでいませんか?

●洗淨時にノズルキャップを緩めたままにしていますか?
洗淨やメンテナンスを行ったときは、必ず元の状態に戻してください。



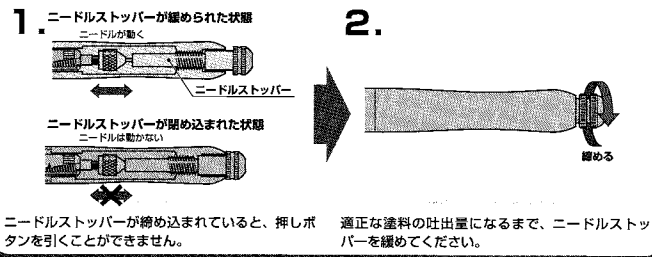
塗料が出て来ない



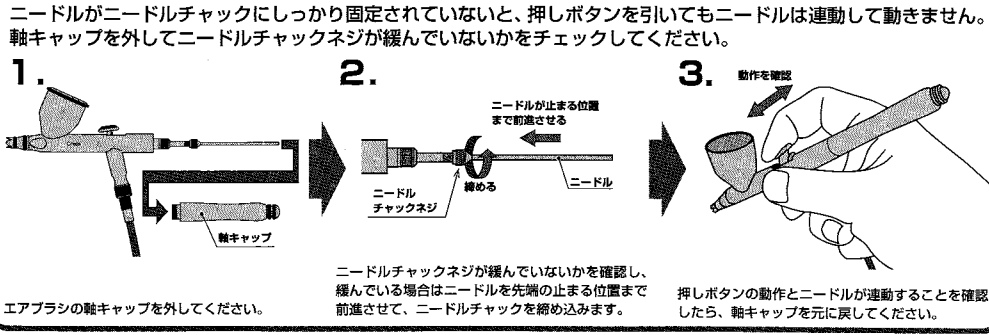
押しボタンでエアは出るけど塗料が出てこない!

Ans.
ニードルの前後動が正しく行われていないのが原因と思われます。

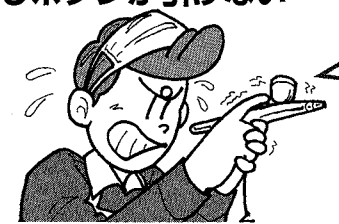
●ニードルストッパーが締まっていますか?
塗料の吐出量コントロールを精密に行うために、ニードルの後退量を制限するのがニードルストッパーです。



●ニードルチャックにニードルが固定されていますか?
ニードルがニードルチャックにしっかり固定されていないと、押しボタンを引いてもニードルは運動して動きません。軸キャップを外してニードルチャックネジが緩んでいないかをチェックしてください。



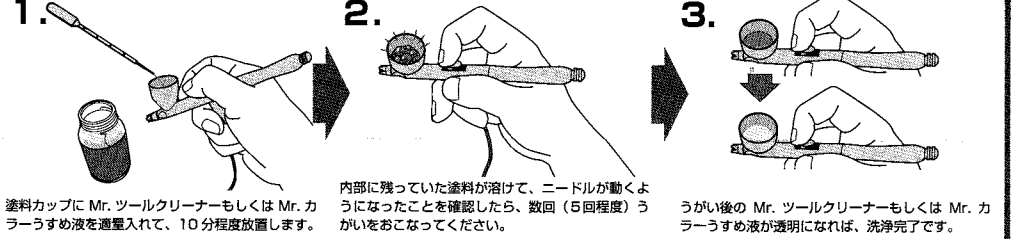
4 押しボタンが引けない



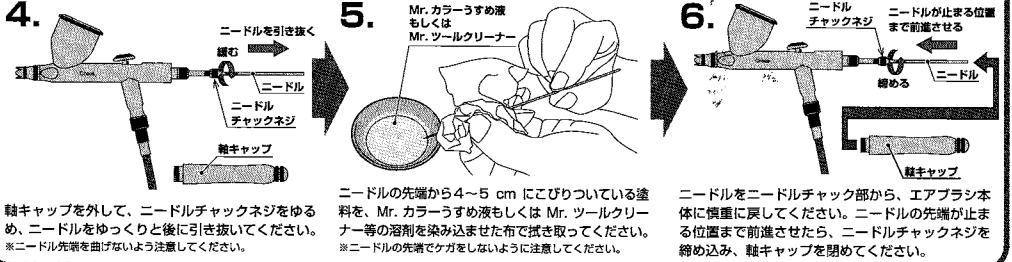
押しボタンが固くて引けない!

Ans.
前回使用した塗料が、エアブラシ内部に残って乾燥しニードルがエアブラシ本体に固定されてしまうことによって発生するトラブルです。

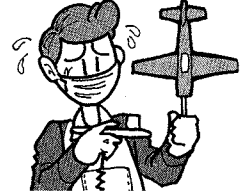
●前回の使用時にしっかり洗淨しましたか?
前回使用した塗料がエアブラシ内部に残って乾燥し、ニードルがエアブラシ本体に固定されてしまうことによって発生するトラブルです。カップ内部はきれいに洗淨されていても、エアブラシ内部に塗料が残っていることがあります。



《中級者以上の方のみ参照してください。》



5 押しボタンが戻らない / 動きが渋い



エアボタンが下がったまま戻らない!

Ans.
ニードルスプリングケースの締め過ぎによるトラブルと思われる。

●前回の使用時に、ニードルスプリングケースを操作しませんでしたか?
ニードルスプリングケースを締め込み過ぎると、押しボタンの上下動作が渋くなる場合があります。

